

環境保全型農業直接支援対策について

農業分野においても地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的に貢献していくことが重要となっています。

農林水産省では、環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して直接支援を行っています。

1 環境保全型農業直接支払交付金

【支援対象】

◇①エコファーマー認定を受け②農業環境規範に基づく点検を行っている販売農家、集落営農組織(農業者グループ)

【支援の対象となる営農活動】

◇化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組とセットで行われる次の取組を支援

・カバークロープの作付

(主作物の栽培期間の前後のいずれかに緑肥等を作付けする取組)

・リビングマルチ・草生栽培の実施

(主作物の畝間や圃地などに麦類や牧草等を作付けする取組)

・冬期湛水管理

(冬期間の水田に水を張る取組)

◇有機農業の取組

(化学肥料・農薬を使用しない取組)

【支援基準】

◇国からの支援単価は、4,000円/10a

◇国の支援単価は、国、地方公共団体の負担割合1:1を前提として設定

※平成22年度から23年度にかけて実施する調査の結果を踏まえ、24年度以降見直しを検討

平成23年度 環境保全型農業直接支払交付金の県別申請状況(速報値)

県名	申請件数	申請面積(ha)
新潟県	1,091	2,822
富山県	73	184
石川県	96	399
福井県	607	2,554
全国	7,911	20,866

※申請状況は平成23年8月31日現在で取りまとめた数値であり、今後の精査により数値が変わる場合があります。

2 先進的営農活動支援交付金(平成23年度限り)

◇集落共同で農地・農業用水等の保安全管理を実施している地区において、化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組に対して支援

〈国の支援単価 水稲:3,000円/10a、麦・豆類:1,500円/10a、果菜類:9,000円/10a 等〉

※環境保全型農業とは

「農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業」(環境保全型農業の基本的考え方より)。

掲載情報についての詳細は農林水産省ホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/kankyo/111003.html>

第4回「地産地消の仕事人」決定

地産地消の取組を成功させるには、直売所等における消費者への販売や運営、地域の農林水産物を活用した加工品の開発や食堂の展開、学校給食への地域の農林水産物の安定した供給体制づくり、外食・中食産業者等との連携による地域の農林水産物の利用拡大など、多様な分野で知見や経験を有する人材の存在が地産地消の推進に重要となっています。

農林水産省では、地域の取組の中核となるリーダーやコーディネーターを第4回「地産地消の仕事人」として募集しました。

この度、平成23年9月22日に開催された「地産地消の仕事人」選定委員会を経て、全国で44名の方が「地産地消の仕事人」に選定され、北陸農政局管内からは、以下の6名の方が選ばれました。



- ◆ 新潟県 新潟市 株式会社 シルバーホテル
総料理長 森本 節生 (もりもと せつお)氏
- ◆ 新潟県 見附市 みらい市場
店長 堀川 岩男 (ほりかわ いわお)氏
- ◆ 新潟県 佐渡市 特定非営利活動法人 佐渡活性化支援機構
事務局長 石塚 善晴 (いしづか よしはる)氏
- ◆ 石川県 金沢市 青木クッキングスクール
校長 青木 悦子 (あおき えつこ)氏
- ◆ 石川県 金沢市 星稜女子短期大学
准教授 安藤 信雄 (あんどう のぶお)氏
- ◆ 福井県 福井市 株式会社 高橋製粉所
代表取締役社長 高橋 英夫 (たかはし ひでお)氏



※「地産地消の仕事人」に選定された6名の方の取組概要はホームページをご覧ください。

〈ホームページ〉http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/tisan_tisyo/t_sigoto_nin/h23.html

北陸農政局管内の 6次産業化の取組事例【第2回認定者】について

北陸農政局では、「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律(六次産業化法)」に基づき、申請された第2回「総合化事業計画」の認定を行いました。今回の認定件数は8件で北陸農政局管内の認定累計件数は25件となりました。

ここでは、第2回「総合化事業計画」に認定された8事例を紹介します。

・新潟ゆうき株式会社 新潟県
食と自然環境を融合した直売所等設置による地域活性化WINWIN事業



・株式会社 ダイチ 富山県
自家生産の大豆を使った豆腐の製造・販売事業



・ふーど工房ゆうこ 新潟県
かんしょを活用した新商品(笹団子・スイーツ)開発及び販売事業



・能美農業協同組合 石川県
地元産農産物(もち米、大豆)や特産品(加賀丸いも、ハトムギ)での新商品開発・製造・販売



・有限会社 テラサワ 新潟県
希少イチゴの直売・加工及び観光農園の開設



・有限会社 のむら農産 石川県
自社原料による新たなもち加工品の開発と製造・販売体制の強化事業



・みな穂農業協同組合 富山県
地元農産物生産にプラスワンアクション、生産、加工品開発・製造、販売、情報発信(PR)を一貫して行うための地場産流通システム整備事業



・株式会社 アジチファーム 福井県
「米パン農家のマルシェレストランほやほや」自社生産米加工品の複合型販売施設事業



※第1回認定者の取組事例についてはホームページをご覧ください。

〈ホームページ〉<http://www.maff.go.jp/hokuriku/kihon/6jisangyouka/index.html>



編集:北陸農政局 企画調整室 TEL 076-232-4206

住所:石川県金沢市広坂2丁目2番60号

〈ホームページ〉<http://www.maff.go.jp/hokuriku/>

メールマガジン配信中(登録はこちらから) <http://www.maff.go.jp/hokuriku/mm/index.html>